

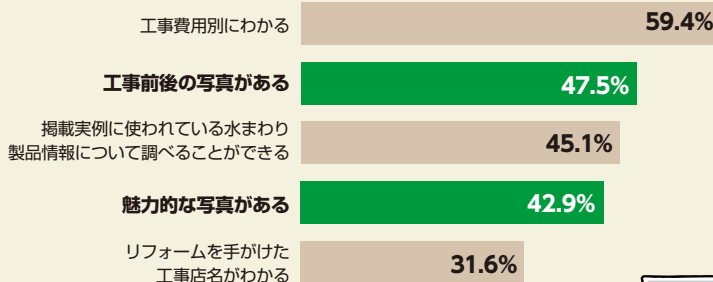
基礎から始める リフォーム実例写真ガイド

魅力的な写真にステップアップしてリフォーム実例でお店をアピール！

お客様がリフォームを決断したり、お店を選ぶ際の重要な指針となるのがリフォーム実例です。インターネットで検索して情報収集する方が増えていますが、このとき、リフォーム実例の写真があることはもちろん、その写真が魅力的であることが重視されています。

このガイドでは、お客様がこんなリフォームをしてみたいと心が動かされる写真撮影のための基本的なポイントとテクニックを、プロのカメラマンが伝授します。
お客様の夢をカタチにした提案力、施工技術をしっかりアピールする実例写真を撮影し、営業活動に活用しましょう！

Q 「リフォーム実例」をインターネットで探す場合、どのような点を重視しますか？

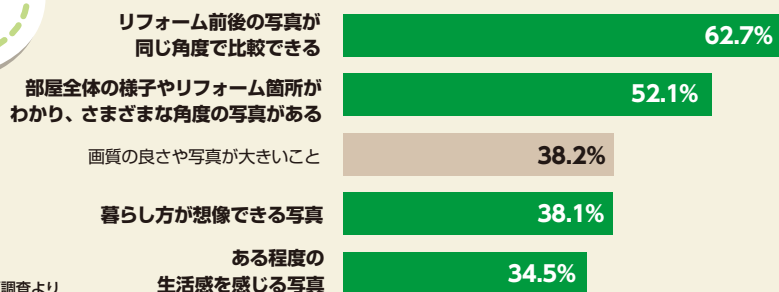


インターネットで
実例を探す際には、リフォームの
イメージが膨らむ
写真があることが重要！



リフォーム前後の
比較や暮らし方が
想像できるものなど、
さまざまな写真を見たい！

Q 自身のリフォームの参考にする実例写真は、どのようなものが魅力的だと思いますか？



【複数回答／n=751／上位5項目】
※2020年「TOTOリモデルサイト」お客様評価調査より



POINT!

完工の後日に撮影日を設けるのがベスト！

完工してお客様にお引き渡しするときは、製品保護シートが付いていたり、家具や小物が置かれていないなど、生活感のない状態です。撮影日は、後日、お客様が室内を整えたところに様子伺いを兼ねて設定しましょう。素敵な暮らし方が見える魅力的な写真を撮影できます。

- 工程表に予め撮影日を組み込んでおくとお客様にアポイントを取りやすくなります。
- 「素敵な暮らし方の雰囲気」を伝えるための演出がしやすくなります。
お客様の持ち物以外に、撮影用の小物などを用意してコーディネートするのもお勧めです。

「リフォーム事例検索ページへの掲載基準」＋ 「魅力的な事例写真のポイント」でステップアップ！

「TOTOリフォームサイト」に登録していただいたリフォーム事例は、下図の掲載基準をクリアすると「リフォーム事例検索ページ」にも掲載されます。この掲載基準は、事例撮影における最初のステップ。これにプラスして「魅力的な事例写真のポイント」も意識すると、お客様に響く事例写真に。ぜひ撮影の参考に、このガイドをお役立てください！

TOTOリフォームサイトの「リフォーム事例検索ページ」掲載基準

下図の掲載基準をクリアすると「リフォーム事例検索ページ」にも掲載され、お客様の目に留まりやすくなります。

※リモデルクラブ店様のお店詳細ページには、登録されたすべての事例が掲載されます。※この掲載基準は、適宜追加・変更する可能性があります。

住宅リフォームの実例であること NG例 公共のトイレ、店舗だとわかる写真 ※マンション、アパートは可。 ※事務所のトイレは見た目が住宅のトイレと遜色がなければ可。	お客様のご自宅が特定されない写真であること NG例 表札が写っている玄関の写真 ※読めない状態であっても個人情報の問題でトラブルとなる可能性があるため、写ってしまう場合はモザイクなど画像加工をすれば可。	他店舗に掲載されていない実例であること NG例 多店舗展開されているリモデルクラブ店で、複数の店舗に同一の実例が登録されている ※最初に登録された事例以外は、非掲載にさせていただきます。
養生材・製品保護シートがはがされている NG例 ウォシュレットに保護シートが付いたままの写真 	写真の質が良い NG例 ぼやけている・暗い・小さすぎる写真など 	生活小物が美しく並べられ、乱雑でない NG例 生活感の強い雑貨や、リフォーム資材などが写り込んだ写真 
リフォームに設備交換が含まれている NG例 キッチンが交換せず、キッチンの壁紙のみリフォームした写真 ※キッチン、バス、洗面、トイレのいずれかの実例の場合。寝室、廊下などは可。	空間リフォームである NG例 部分的な交換（コンロ交換・水栓金具交換・ウォシュレット交換など）のみのリフォーム 	〈トイレの場合〉便座が閉じられている NG例  ※便ふたは、写真の撮影意図に合わせて適宜ご判断ください。
リフォーム現場を撮影した写真である NG例 ●現場写真が、施工中の写真・スタッフ紹介・CG・図面になっている ●Beforeの写真がない	写真が縦横正しく登録されている NG例 縦型の写真が横向きに表示されている 部位ごとに正しく写真が登録されている NG例 トイレの写真としてキッチンの写真を登録している	リフォーム費用に明らかな誤りがない NG例 ●リフォーム面積が「0㎡（坪）」や費用が「0円」と登録されている ●「万円」単位での登録となるリフォーム費用が「千円」単位で登録されている

さらに
ステップ
アップ！

魅力的な事例写真のポイント

写真が明るい

●室内は見た目の印象より明るく撮影し、特に暗部が明瞭に見える明るさに

写真の色合いが良い

●肉眼で見た色合いに近くなるように撮影する

写真の構図に配慮がある

- 柱、梁、扉など水平・垂直に建てられた部分の歪みを最小限に
- リフォーム箇所を含む部屋全体を撮影
- リフォーム箇所は正面・左・右を基本に、Beforeと同じ角度も撮影

素敵な暮らし方の雰囲気が伝わる

- 必要に応じてリフォームした空間に人物を入れて撮影
- 小物や調度品をセンス良く配置し、全体をコーディネート



監修：三浦健司

写真家。ANAの国際線機内誌「WINGSPAN」や「IKEBANA INTERNATIONAL」など、日本文化を写真と文で25年に渡り寄稿。代表作に「KITCHO」（京都吉兆）Japan's Ultimate Dining Experience（英語・日本語版／講談社インターナショナル）や、欧米で多数の賞を受賞した「Japanese farm food」がある。カメラ関連のコンサルタント、セミナー講師のほか、書籍、ムック、雑誌では企画から撮影・執筆を手がける。

公式HP <https://www.kenjimura.net/>

YouTube [\[Kenji Miura Photography Channel\]](https://www.youtube.com/channel/UCHXqkuMzndZ49On7gm3clWg)

<https://www.youtube.com/channel/UCHXqkuMzndZ49On7gm3clWg>

写真の明るさ 室内は見た目の印象より明るく撮影し、特に暗部が明瞭に見える明るさに

室内を明るく撮影するには、自然光を活用するようにしましょう。

雨天の暗い日は避けて、晴天か薄曇りの日の9時～14時ごろを目安に撮影するのがお勧めです。

便利な機能 露出補正

使用できるカメラ	デジタル一眼	ミラーレス一眼	コンパクトデジカメ	スマートフォン
	○	○	○	○

露出補正とは、写真の明るさを調節する機能です。ほとんどのカメラには適正な明るさにオートで調整してくれる自動露出機能が備わっていますが、逆光など強い光が入り込む光線状態では暗く写る場合があります。このようなときは「露出補正」機能を使ってプラス方向に補正すると明るく撮影できます。逆に明るく写りすぎてしまう場合は、マイナス方向に補正して見た目の明るさに合わせましょう。

便利な機能 HDR機能

使用できるカメラ	デジタル一眼	ミラーレス一眼	コンパクトデジカメ	スマートフォン
	○	○	△（機種による）	○

明るさの違う写真（普通の明るさの写真、暗く撮影し白飛びを抑えた写真、明るく撮影し黒つぶれを抑えた写真）を複数枚撮影して、ちょうどよい明るさの部分抽出して1枚の写真に合成する機能。室内だけではなく窓の外風景も見せたいなど、明暗差の大きいシーンを撮影するときに使用すると、通常では再現できない明るさの幅を有した写真に仕上がります。



自動露出機能で撮影した写真。洗面台の面材の模様が暗く、判別しにくい。



マニュアルで露出をプラス方向に補正し撮影した写真。面材の模様も判別できる。

魅力的な実例写真の例



光源から遠い左側の暗部もしっかり写っている

撮影：株式会社グッドスマイルハウス

日中に自然光を活かして撮影すると明るく柔らかな雰囲気に

撮影：株式会社創造工舎（フラン真美ヶ丘店）



〈プラスアイテム〉LEDライト

デジタルカメラに搭載されている主な照明機器は、シャッターに合わせて光るストロボ（フラッシュ）ですが、空間全体に光が届かないなど、多くのシーンで見た目通りには写りません。オススメは、充電式電池や乾電池で動作する外部LEDライトを活用する方法。LEDライトはストロボとは違い、普通の照明のようにシャッターを切る前から点灯しておけるので、慣れていない方でも光の当たり具合を把握しやすいというメリットもあります。



三脚などに取り付けて使用可能。さまざまなタイプのものが販売されている。

写真の色合い 肉眼で見た色合いに近くなるように撮影する

便利な機能 ホワイトバランス

使用できるカメラ	デジタル一眼	ミラーレス一眼
	○	○
	コンパクトデジカメ	スマートフォン
	○	△（機種による）

「ホワイトバランス」とは光の影響で左右される白色を、白く写るように調整する機能です。ほとんどのカメラには「オートホワイトバランス」機能があり、肉眼で見た印象の通りに写るよう、自動で色味を調整することができます。ただ、室内照明や外光の影響で見た目と異なる色合いに写ってしまうことがあるので、その場合はマニュアルでホワイトバランスを調整をします。いくつか設定があるので、好みの色合いはどれか試してみましょう。スマートフォンなど機能がないカメラは、撮影後に画像編集ソフトで対応します。



オートホワイトバランスの設定で撮影すると、実際の見た目より青味が強い色合いになる。



ホワイトバランスをマニュアルで調整し、見た目に近い色合いで撮影

魅力的な実例写真の例



撮影：ほっと住まいの株式会社



撮影：株式会社グッドスマイルハウス

光源の色の影響を受けず、肉眼で見た雰囲気に近い仕上がり

●柱、梁、扉など水平・垂直に建てられた部分の歪みを最小限に

撮影した写真を見たときに不安定な印象を感じるのは、写真に傾きや歪みがあるのが原因です。

柱、梁、扉などの線が、水平・垂直になるように意識してください。

カメラを構える高さに注意しながら、カメラが水平・垂直になるように構えることで、歪みを最小限に抑えます。



身長175cmの目線で構えているため、カメラが下を向いてしまい、垂直線が斜めに



部屋全体の1/2の高さで、カメラを水平・垂直に構えて撮影。壁のラインが垂直に見える



部屋全体の高さの中心より、少し高め的位置でカメラを水平・垂直に構えて撮影。手前の照明を意識した写真に

便利な機能 グリッドガイド機能

使用 できる カメラ	デジタル一眼	ミラーレス一眼	コンパクト デジカメ	スマートフォン
	○	○	○	○

水平・垂直を確認するにはカメラのスクリーンやモニターに格子線を表示させる「グリッドガイド機能」を活用すると便利です。水平・垂直を整えて被写体の歪みを抑え、バランスの良い構図がとりやすくなります。スマートフォンのカメラにもほぼ搭載されているので、活用してみましょう。



グリッドガイド機能をオンにすると、デジタルカメラのモニターに格子状に線が表示される。水平・垂直に見せたい線を合わせれば、歪むことなく撮影できる。



カメラを水平に構えられていないため、左右いずれかに傾いてしまう



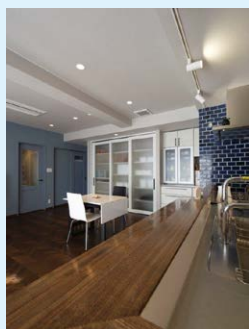
カメラを水平・垂直に構えて、垂直線を意識して撮影するとスッキリと整った写真に

魅力的な実例写真の例



キッチンや梁を水平に
(写真上)
扉や建具を垂直に
(写真下)

撮影：(株)三陽ホーム



建具の格子や梁が垂直に整った
美しい構図

撮影：(株)CONY JAPAN スペースアップ 奈良店



柱や壁、窓枠の垂直線が
しっかり意識されている

撮影：(株)カスケホーム a.n.d.design



●リフォーム箇所を含む部屋全体を撮影

住まいの雰囲気や暮らしがイメージできるように、リフォーム箇所だけではなく、部屋の全景を収めるようにしましょう。レンズのズーム機能で一番広く撮影できる位置に合わせ、部屋の隅から撮影します。

〈プラスアイテム〉広角レンズ



使用 できる カメラ	デジタル一眼	ミラーレス一眼	コンパクト デジカメ	スマートフォン
	○	○	△（機種による）	△（機種による）



同じ位置でカメラを構え、
Aは28mm、
Bは16mm、
Cは14mmのレンズで
それぞれ撮影した写真。
広角になるほど（数字が小さくなるほど）より広い範囲を撮影でき、部屋全体の雰囲気を伝えることができる。

広角レンズを使用すると広範囲を撮影でき、広々とした印象や立体感が生まれます。コンパクトデジタルカメラやスマートフォンに使用されている平均的なレンズは28mm程度。デジタル一眼レフカメラやミラーレス一眼レフカメラはレンズを交換することができるので、プロカメラマンがインテリアなどを撮影する場合は、14mmから16mm程の超広角レンズを使用するのが一般的です（数字が小さくなるほど広角となります）。コンパクトデジタルカメラやスマートフォンの場合は、レンズ本体を付け替えることはできませんが、市販されている外付けの広角レンズ（ワイドコンバージョンレンズ）を使用することは可能です。最新のスマートフォンには、超広角レンズを搭載している機種もあります。

魅力的な実例写真の例

部屋の隅でカメラを構え、
全体的様子が
わかるように撮影
撮影：（株）ゴーイングホーム



●リフォーム箇所は正面・左・右を基本に、Beforeと同じ角度も撮影

リフォーム箇所の撮影は、正面・左・右の3カットを押さえることを基本にしましょう。左側、右側から撮影するときは、正面を中心にしてできるだけ被写体に対する角度・距離・高さが同じポジションになるようにします。また、リフォーム前後で同じ構図のカットも押さえると、変化をわかりやすく伝えることができます。



左から撮影



正面から撮影



右から撮影



〈プラスアイテム〉リフォナビカメラ

スマートフォン向けの無料アプリ「リフォナビカメラ」では、「写真が透ける機能」を活用して、施工前の写真に施工後の写真を重ねて表示することで、簡単に同じ構図の写真撮影ができます。このほかにも、リフォーム実例の撮影に便利なさまざまな機能が搭載されているので、詳細は「TOTOリモデルクラブ情報広場」をご確認ください。

Before・Afterの写真を同じ構図で撮影可能！



Beforeの写真を撮影



Beforeの写真を画面に透かして表示



Beforeの写真に重ねてAfterを撮影すると同じ構図の写真が完成

魅力的な実例写真の例

洗面空間が新しく
設けられたことが
伝わる

撮影：
神戸三晃設備工業株式会社



Before



After

リフォーム前後の比較で空間の変化がよくわかる



Before



After

撮影：（株）OKUTA

●必要に応じてリフォームした空間に人物を入れて撮影

お施主様を入れて撮影すると、暮らしの雰囲気をより具体的に伝えることができます。また、リフォームした空間の大きさ、使用用途なども表現することができるので、写真の意図に合わせてお施主様にご協力いただくと、バリエーションが広がります。

撮影の前に
注意！

人物を撮影する際には、別途お施主様の許可が必要です。

ホームページやチラシへの掲載、店内での掲示、他のお客様への資料など、写真を活用する場合の条件なども事前にご案内の上、許諾をいただくようにしてください。



リフォーム後の快適な空間でお施主様家族が楽しく過ごすひと時を自然なシーンで撮影



人物の動きを出してほかに撮影すると、キッチンで作業している雰囲気を演出できる



お施主様に普段のように動いていただくと、日常の生活シーンを切り取った写真に

●小物や調度品をセンス良く配置し、全体をコーディネート

完工時の何も物がない状態で撮影すると、味気のない写真になります。空間の雰囲気を損なわない程度に、お施主様愛用の家具や調度品、インテリア小物などを配置すると生活の様子が伝わります。そのとき、箱のままのティッシュや洗剤、掃除用具など、生活感の強い日用品は外しましょう。カラーテイストや小物の並べ方に配慮して、空間をセンス良くコーディネートすることを心がけてください。

魅力的な実例写真の例



観葉植物や食器などを用意してコーディネート
撮影：ほっと住まいる(株)



シンプルな浴室には観葉植物を。
ボトル類もデザイン性を重視
撮影：(株)Toivo



本棚には本を並べ、机の上は使う様子がわかるように演出
撮影：(株)OKUTA



シックな空間に合わせて家具や家電もモノトーンに
撮影：(株)オノヤ リフォームショールーム 須賀川店

RoomClip なども参考に

住まい関連のサイトに投稿された写真も
コーディネートの参考になります。



ナチュラルでおしゃれな雑貨が雰囲気をアップ
Room No.2912528 / ユーザー名：Rrさん



ちょっとした棚と雑貨がトイレをおしゃれに
Room No.1145780 / ユーザー名：Yayoiさん

キッチン

正面、あるいは左右どちらかの撮影ポジションから横位置で撮影します。ただし吊戸棚などがフレームアウトする場合は、縦位置で対応します。キッチンの中に立った位置から撮影するときは、シンクや水栓金具なども入れながら、ダイニングやリビングを眺めるように撮影すると生活者の目線の写真になります。また、照明にこだわりがある場合は、夕刻から夜にかけて撮影すると光の温かみなども表現できます。



正面から横位置で、全体が収まるように撮影。

撮影：アイエスジー株式会社 住宅リフォーム事業部



キッチンに立ったときの生活者の目線で撮影。

撮影：JAホームリフォーム工房



縦位置で撮影すると天井や照明などの様子がわかる。

撮影：株式会社グッディーホーム

浴室

入口から奥に向けたカットと、浴室の奥から入口に向けたカットを、基本的には縦位置で撮影します。さらに浴槽の大きさや形状に特徴がある場合は、その特徴が良く分かるポジションからも撮影すると、より具体的に伝えることができます。



入口から奥に向けて。特徴的な窓も入れて撮影。
撮影：株式会社グッディーホーム



奥から入口に向けて。洗面所とのつながりもわかる。
撮影：アイ・ホーム北海道株式会社



お湯を肩から浴び、肩まわりを温める特徴的な浴槽の機能の様子も撮影。

撮影：株式会社ハウジングプラザ

洗面所

基本的に正面から縦位置で撮影します。そのとき、鏡に撮影者が写っていないか必ず確認を。写ってしまう場合は、左右どちらかに撮影ポジションを移動して撮影するようにしましょう。



鏡の映り込みに注意して少し斜めの位置から撮影。
撮影：株式会社スペース・ツイン



斜めから撮影し、洗面所全体の様子を収める。
撮影：静岡カスリーンビルディング株式会社 静岡営業所



洗面カウンター全体の様子が見えるように撮影。
撮影：株式会社創造工舎（フランク真美ヶ丘店）

トイレ

入口側から縦位置で撮影するのが基本です。採光窓やウォシュレットのリモコンなどを入れたカットも撮影します。また、手洗器や棚などデザイン的な工夫のある箇所も撮影すると良いでしょう。



入口側から採光窓など全体を入れて撮影。
撮影：株式会社サンフロ サンフロリフォーム



特徴的な引戸もわかるように外から撮影。
撮影：株式会社さくら住宅



デザイン性のある手洗器をアップで撮影。

撮影：株式会社CONY JAPAN スペースアップ 奈良店